

せんだい リノベーション まちづくり

リノベーションカフェトーク

仙台のまちを変える～リノベーションまちづくり

ゲスト 清水義次

リノベーションまちづくりって、どうしたら自然に発展していく？
そのヒミツを語ります。

はじめは、2003年千代田SOHOまちづくり構想(家守構想)とCET(セントラルイースト東京)の組み合わせで空き家・空きビルを活用したことにあります。時代が変わり始めた。なら、それにフィットする動きをすればいい！ただそれだけです。

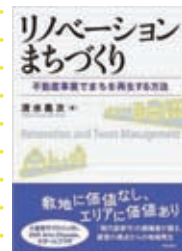
さあ！みんなで仙台のまちを楽しく変えていきましょう！

ーアフタヌーンソサエティ 清水義次ー



What's RENOVATION MACHIZUKURI?

リノベーションまちづくりとは、補助金に頼らずに、まちの財産である空き家・空き地・活用されていない公共空間を使って、民間の力で「まちのリノベーション」です。まちの「家守(やもり)」がその主役です。



日時：2015年7月17日(金) 18:30～20:30 (18:00開場)

場所：仙台市民活動サポートセンター B1F シアター
(仙台市青葉区一番町4-1-3)

入場：無料(当日先着順) 定員：100名

プログラム

18:00 開場

18:30~19:40 講演「仙台の街を変える～リノベーションまちづくり」(清水義次)

19:40~20:30 清水氏・竹内氏・馬場氏・大沼氏によるCETエリアのクロストーク

About SENDAI

仙台的まちは、東日本大震災後の厳しい状態から力を合わせて立ち上がり、歩みをすすめ、今は10年前よりにぎわっているようにも見えます。しかし今のまちなかにも多くの課題があります。仙台のダム機能は年々低下し、仙台で学んだ学生が上り列車に乗り人材が流出しつづけることで、仙台だけでなく、東北全体に影響を与えつつあります。

“YAMORI”

まちを育てるためには、そこで活躍する人材こそが重要です。年代物のビルや町屋・コインパーキングの空・広い並木道……見慣れた風景を、仙台の都市課題とポテンシャルととらえ、課題を発見し、課題解決に挑戦していくプレーヤーが、ストック活用時代の仙台のまちづくりの主役「家守」です。一人ではなく、個性的な人々が集まってチームとして立ち上がることで、小さな拠点から始めて、エリア全体を活性化していくことができます。

Event

そのはじまりの場として、7月17日(金)に、清水義次氏をお招きし、リノベーション・カフェトークを行います。

Join us!

2015年、地下鉄東西線が開通する年に、あたらしい仙台のまちづくりがはじまります。今年度のすべてのプログラムの参加はオープンになっております。皆さんぜひふるってご参加下さい。



清水義次

建築・都市・地域再生プロデューサー
株式会社アフタヌーンソサエティ代表
取締役、3331 アーツ千代田代表
公民連携事業機構代表理事
東洋大学大学院客員教授



竹内昌義

建築家・みかんぐみ
東北芸術工科大学デザイン工学部
建築・環境デザイン学科教授



馬場正尊

建築家・OpenA
東北芸術工科大学デザイン工学部
建築・環境デザイン学科准教授



大沼正寛

東北工業大学ライフデザイン学科
安心安全生活デザイン学科准教授



不破正仁

東北工業大学工学部
建築学科講師



福屋粧子

東北工業大学工学部
建築学科准教授



主催：仙台市 共催：東北工業大学
特別協力：東北芸術工科大学
問合せ先 東北工業大学工学部建築学科 福屋研究室
E-mail : info@s-renovation.com
Tel : 022 - 305 - 3610